

地形や地質、気象など、 厳しい自然条件が重なって、 災害の起きやすい地域となっています。

伊那谷の大きな特徴は、もろい地質と険しい地形をあわせ持つ点です。さらに、山岳地には大量の雨が降るため、山から天竜川へと大量の土砂と水が流れ込むことになります。穏やかな天竜川も、しばしば一変して「暴れ天竜」となり、昔から恐れられてきました。

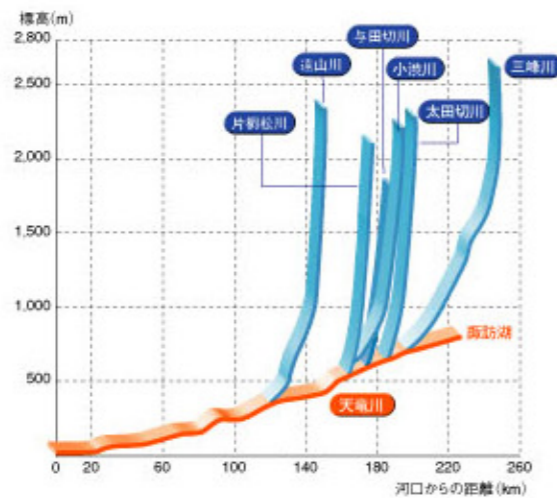
厳しい自然条件-1

わが国屈指の急流河川

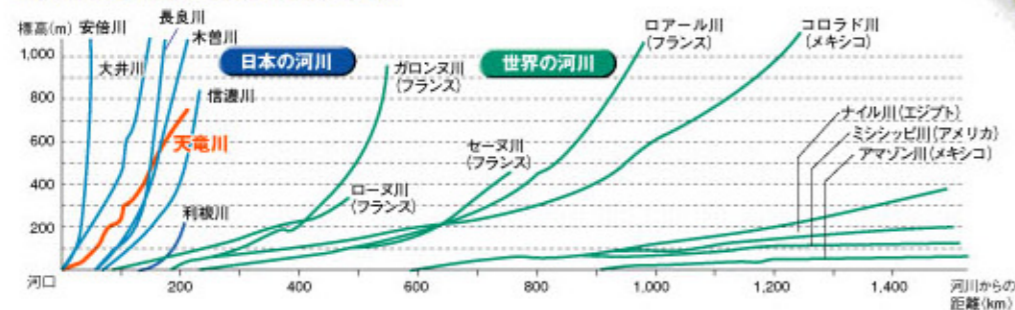
3,000m級の山々がそびえ立つ中央アルプスと南アルプスに囲まれた天竜川。中でも標高差が大きく急峻な地形を流れる支川は、わが国屈指の急流河川といえます。洪水時には多くの支川から大量の水と土砂が一気に本川に流れ込み、水害や土砂災害を引き起こします。

■天竜川のおもな支川勾配

支川は、まさに滝のように本川に流れ込んでいます。



■天竜川と国内外の河川勾配の比較



中央アルプス 百間ナギ崩壊地 (与田切川上流)



太田切川と天竜川(駒ヶ根市)

厳しい自然条件-2

もろい地質

天竜川流域には、風化しやすい花崗岩などが広範囲に分布しています。さらに日本列島を縦断する大断層“中央構造線”や“糸魚川-静岡構造線”などいくつもの構造線が走るもろい地質構造となっています。そのため山の斜面で大規模な崩壊が起きています。



厳しい自然条件-3

多い年間降水量

天竜川上流域は年間降水量が全国平均より多い地域です。特に市街地よりも、山岳部で多くの雨が降ります。高地で降った大量の雨は土砂とともに急流な支川を下り、本川へ流れ込みます。

■年間降水量の比較

山の高い場所ほど降水量が多く、全国平均を大きく上回っています。

